

令和7年4月1日

令和7年度 江南小学校経営方針

校長 藤田 滋

1 はじめに

新潟市の教育が目指す人間像

「しなやかに 世界と未来を創る人」

「しなやか」

「柔軟性、弾力性」「粘り強さ」「たくましさ」「適応力」

「世界」

グローバルな世界や自分が関わる身近な地域社会

【新潟市の教育が目指す人間像】

既成概念にとらわれず、主体性と挑戦する気概をもち、新たな価値を創造しながら、しなやかに「世界」や「未来」を作り出していく新潟市民であってほしいという願い

「令和の日本型教育」では、子どものパートにおいて、多様化が進む子どもたちのすべてに基礎的・基本的な知識・技能などを確実に習得させるためには、個々の子どもに応じた学習活動を提供することで、主体的に学習を最適化する「学習の個別化」の重要性が述べられている。これら、「個に応じた指導」（「指導の個別化」と「学習の個性化」）、「個別最適化した学び」が重要であることが述べられている。

また、学校ならではの協働的な学び合いや地域を始めたような他者と協同して主体的に実社会の課題を解決しようとする探求的な学び、体験活動を通じた「協働的な学び」が重要であることも述べている。

これらを通して、一人一人の児童が、将来、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の作り手となることができるようにする力を培うことが求められている。

OECDのこれからの時代の教育を考えるプロジェクトでは、子ども一人一人の幸せ、ウェルビーイング（WELL-being）の実現のためには子どもが「自ら主体的に目標を設定し、見直しをもって、行動し、振り返る」プロセスが重要であり、その積み重ねを通して、「責任を引き受ける、新たな価値を創造する、対立や緊張や葛藤の折り合いをつける」といった資質・能力が、これから求められる資質・能力として育つとされている。

2 江南小学校が目指す方向

教育目標で扱う「かがやき」とは『「喜び」と「楽しさ」を感得し、安心を基盤として、たくましく過ごしている状態』とする。この状態を常態化するための基盤は「安心感」である。子ども自身が安全で安心であることを実感している環境で子どもは思いや考えを表現でき、失敗を恐れることなく探究することができる。こうした子どもの姿を実現するには子どもの小さな変化に気づき、子どもの姿を語ることでできる児童理解について学び続ける教師のいる環境が重要である。

新潟市の教育が目指す人間像「しなやかに 世界と未来を創る人」に込められた願いは、江南小学校では、安心感を基盤として目指す資質・能力「挑む」「認める」「考える」の育成を図ることで力強くアプローチする。

江南小学校の教職員は、一人ひとりが自分の持ち場で役割を果たしながら、認め合い、支え合い、高め合う資質と能力に富んだ職員集団である。本年度はさらに、職員一人一人の柔軟な発想と行動力を結集し、挑戦し、夢をかなえ「WELL-being」を実現する。

3 教育目標と重点目標

教育目標

かがやけ 太陽の子 「やさしく かしこく たくましく」

令和7年度新潟市立江南小学校「今をかがやけ未来もかがやけ」ビジョンに基づき、教育目標の実現を目指す。

重点目標

- 安心 多様性を認め合いすべての児童が居心地の良い学校環境
- 挑む 解決したい課題を見付け、粘り強く取り組む子ども
- 認める 思いを聞いたり、伝えたりして、互いを認め合う子ども
- 考える 対象や方法を選択・調整して、情報を整理しながら新たな考えを見出す子ども

4 実現のために大切にしたいこと

- (1) 同僚性を大切にし、江南小の宝である子どもと教職員の安心を高める。また、「挑む」「認める」「考える」の視点をから、子ども・教職員自身が高まるための挑戦をすること。
- (2) 学級 ○人間関係づくり 子どもと子ども 子どもと教職員 教職員と保護者
○学級だより(月1~2枚以上)
※ 授業や活動で見られた子どもの姿を目指す資質・能力の観点から意味付け・価値付け、認める内容を盛り込む
 - 高まりや変容の兆しや芽生え ● 望ましい姿に至る過程
 - 他者を思う言動の価値付け ● 子どもの素敵な言葉と意味付け など
- (3) 授業 ○学級づくり「出会いての担任方針」「頑張って目指すこと」「絶対に許さないこと」
◎4年生以上での教科担任制<例:国語と算数で、社会と理科で、図工と音楽で>
○「課題の提示」と「問い」の区別、「まとめ」、ノートに書くこと、定期的な振り返り
◎教材研究の協働的な取組
- (4) 規律 ○学習や生活において継続して取り組むこと、大切にしながら高めていくこと
- (5) 挨拶・清掃
○指導の徹底と率先垂範(目的と意味・価値・願いの全職員での共有)
- (6) 保護者・地域との連携、校種間連携(小中・幼保こ小:架け橋プログラム)
○連絡帳ではなく電話、電話より面談での誠実な連絡・伝達・相談、お便り
◎スタートカリキュラムの充実・幼保こ小との教育観・保育観・資質と能力を育む取組の共有化
- (7) いじめの未然防止の充実と対応の徹底
◎生活指導は初期対応(速報と即共有、正確かつ迅速な事実確認を組織的対応)
- (8) 適切な目標を持たせ、その振り返りを大切にしていける取組
○学習・運動・健康(生活習慣、運動のめあて、給食等)
- (9) 安心・安全な環境づくりと適切で迅速な対応
◎安全点検、首から上のけがの対応(報告と保護者対応)
- (10) 働き方改革
○ライフワークバランス、お互い様
- (11) 発信
◎ブログの充実
◎学校だよりの配付効果の向上 4部会主任による取組紹介 成長を伝える写真